

◇ 事業報告

事業団総括事項

事業団の公益財団法人としての管理・運営に関しては、前年度に引き続き、新制度の枠組みの中でコンプライアンス意識をもち、ガバナンスの強化を心がけた法人運営を行った。

具体的には、情報開示については、ホームページ上での事業計画書・収支予算書及び事業報告書・決算書の公開をはじめ、事業団運営施設の利用状況等を役職員へ定期的に情報提供を行うなど、事業団内外への情報発信と透明性の確保に努めた。

平成27年度は、公益財団法人に移行後、初めての福島県公益認定審議会による法人の運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査が実施され、特に指摘事項はなかった。

さらに、いわき市包括外部監査も実施され、健康・福祉プラザのクアハウス・宿泊施設について、利用者数は多いものの収支面では常にマイナスとなっており、利用料金制を導入していることから最低でも収支均衡となるように料金体系の見直しをはじめ事業運営について検討する必要があるとの指摘等があった。

組織・体制面では、職員の健康維持や職場環境の改善といった観点からインフルエンザ予防接種者に対し料金の助成や職場巡視等を実施した。

財務面では、ペイオフ対策の観点から、前年度に引き続き定期預金を複数金融機関に分散保有した。

また、事業団の財務上の経営に関しては、公益目的事業の中でも利用料金制であるクアハウス・宿泊施設については、風評被害がいまだに減少しない中、事業計画での利用者数増の目標を達成することはできなかったが、灯油価格の大幅な減少等により、平成26年度決算よりも約15,000千円の収支改善が図られた。

一方、収益事業である健康・福祉プラザの通所介護事業所、居宅介護支援事業所及び障害者生活介護センターについては、介護報酬が引き下げられたこと等により、平成26年度決算よりも約16,000千円の収益減となり、事業団全体としては、東京電力からの損害賠償金を含めても440千円の黒字にとどまった。

1 公益目的事業（社会福祉事業）

1. 総括事項

公益財団法人の核となる公益目的事業として、次の社会福祉事業を実施した。

○公の施設の指定管理業務

- ・老人福祉センター及び老人憩いの家
- ・児童館及び児童センター
- ・へき地保育所
- ・いわきサン・アビリティーズ
- ・いわき市健康・福祉プラザ

○いわき市からの委託事業

- ・いきいきデイクラブ事業
- ・ファミリー・サポート・センター事業

- ・いわき・ふれあい・ふくし塾運営事業 ・ 障害者相談支援事業
- ・転倒骨折予防教室事業

○自主事業

- ・温泉療法事業
- ・いきいき健康教室事業

これら施設の管理運營業務並びに市の委託事業等の業務について、不特定多数の者の利益の増進に寄与することを求められる公益目的事業として、広く市民福祉の向上に寄与するべく効率的かつ円滑な運営、実施に努めた。

(1) 施設貸与事業 (表①-1～7参照)

① 老人福祉センター及び老人憩いの家

高齢者の健康増進やレクリエーションの場である老人福祉センター及び老人憩いの家については、平、勿来で新規利用のサークルや現利用団体の複数回利用が増えたこと、利用者の要望を聞き、工夫を凝らした事業等を実施したことで、5施設合わせた利用状況は前年度比118件増の3,760件の利用件数であった。

② 児童館及び児童センター

子どもの遊び場、子育て支援の拠点である児童館・児童センターについては、引き続き学童及び未就学児の親子の遊びの場、子育て支援の場として児童館事業の運営を行った。

小名浜児童センターでは、近隣学区に放課後児童クラブ等が不足していることや赤ちゃんサロンの開催回数を増やしたことなどにより、学童及び未就学児親子の利用ともに増加し、全体としては前年度比5,455人増の29,155人であった。

植田児童館では、4月1日から正式にオープンする「いわき市こども元気センター」が3月28日にプレオープンし1日平均775人の利用があった。

それ以前については、前年度に引き続き植田駅前前の貸店舗での運営であったことから、利用児童が多くなり過ぎないように児童の保護者に放課後児童クラブ等の利用をすすめるなど協力を求めた結果、学童の利用は前年度に比べ30%以上減少した。一方、未就学児の親子の利用については、乳児の親子を中心に利用が前年度比30%以上増加した。

内郷児童館では、小名浜児童センターと同様に近隣学区に放課後児童クラブ等が不足していることから、学童の利用が約25%増加した。一方、未就学児の親子の利用については赤ちゃんサロンの開催回数が減ったことなどにより前年度比7%余り減少し、内郷児童館全体では前年度に比べ2,595人増の34,611人であった。

また、児童館での子育て支援に関する主要な事業であり、子育て中の保護者の相談への対応や、保護者同士の交流の場を設けることを目的とした地域子育て支援拠点事業(表①-2参照)については、各施設に2名の子育て支援員を配置し、利用は全体で前年度

比18%増の5,423組の利用となった。特に子育てに関する相談は、経験豊富な子育て支援員が増えたことで、相談等を抱える保護者への対応機会を増やすことができたと考えられ、その件数は大幅に増加した。

③ へき地保育所

三和町永井地区と川前町桶売地区にいわき市で設置している二つのへき地保育所の指定管理者として、施設近郊で暮らす幼児の保育業務を実施した。また、保育所運営の一環として、例年同様に運動会や発表会を実施するとともに、遠足、地元敬老会や高齢者施設への慰問など園外活動にも取り組んだ。

利用状況は、永井では在籍児童が10人から6人、桶売では6人から3人に減少したため、延べ利用者数は、前年度に比べ永井622人、桶売737人の減少となり、2保育所合わせた延べ利用児童数は1,359人減の2,090人であった。

④ いわきサン・アビリティーズ（障害者教養文化体育施設）（表①-3参照）

障がい者のスポーツや趣味・教養の場であるいわきサン・アビリティーズについては、体育館や研修室等を障がい者や一般利用者の利用に供するとともに、前年度と同様に車いすバスケットやスルーネットピンポンなどの他に、今年度は「リアル野球盤交流会」など新たな障がい者スポーツの競技会等も取り入れ16回開催した。施設の利用状況は、全体としては前年度より3,230人増の50,972人であった。

その内訳は、一般利用者36,850人、障がい者14,122人であった。

⑤ いわき市健康・福祉プラザ

ア 温泉利用型健康増進施設（クアハウス）（表①-4参照）。

クアハウスでは、誰でも手軽に健康増進が図れる施設として、平成27年度も引き続き、温水プールやトレーニングルーム、各種温浴施設の利用を提供することにより、生活習慣病の予防に貢献するなど利用者が日々を健康に過ごすための支援を行った。

本年度は、基幹設備の給湯ポンプの交換についていわき市と協議し、劣化状況や重要性を勘案して4か所の交換を依頼し実施した。また、各裸浴サウナ室内の腐食の進んだ板の一部貼り替えなど経年劣化による機械の故障や設備の破損についても可能な限り対応し、顧客サービスの維持に努めた。

一方、営業面では、10月に期間限定でクアハウス回数券の特別割引販売を実施し、2週間で224冊1,437千円の売上となった。また、法人会員数も3社増、1社減と実質2社増えたものの、新舞子ハイツのヘルスパール営業再開もあり、個人の年間会員が前年度比で69人減少した。

この結果、利用者数については、回数券と入場券の利用者が合わせて1,045人増えたものの、現金入場者が2,349人、年間利用券利用者が4,018人と共に前年度より減少し、クアハウス全体では5,836人減の333,143人であった。

これは、開業以来最高利用者数の前年度を下回ったものの、過去2番目の利用者数であった前々年度の333,401人とほぼ同じ実績であった。

イ 宿泊施設（表①-5～7参照）

宿泊研修施設についても、クアハウスと同様に公益目的事業として、広く多くの方たちに利用していただけるよう、低廉な料金で気軽に温泉保養が楽しめる施設を提供した。

平成27年度は、利用者から好評の低廉な宿泊パックを3期に分けほぼ通年で実施し集客増を図り、いわき市内からの利用者は微増となった。

一方で県外からの利用者については、原発事故による風評被害が依然として治まらな
い中、パンフレットや宿泊パックのチラシ等の設置依頼箇所を大幅に増やしたこと等により関東方面からの利用者が前年度比で212人増加したものの震災前と比較するといまだに半数程度にとどまっている。全体としては、前年度比106人増の9,010人であった。

また、3期（5月から7月、8月から12月、1月から3月）に分けて、ほぼ通年で実施した低廉な宿泊パックの実績は、パック利用者3,637人（1期1,054人、2期1,533人、3期1,050人）であり、実施期間中のパック利用率は67.2%（前年度71.9%）であった。

温泉利用型健康増進施設（クアハウス）と宿泊施設を合わせた施設事業収入は、154,790千円であり、支出は、187,443千円となり、差し引き32,653千円の赤字であった。

ウ 浴室付大広間

いわき市から受託している浴室付き大広間については、誰でも手軽に温泉を楽しめる施設として提供した。利用実績については、湯本駅近くの温泉施設「みゆきの湯」が4月から9月にかけて休業していた影響から前年度比1,155人増の17,208人であった。

エ 研修施設

同じくいわき市から受託している研修施設については、地域社会の健全な発展のために各種団体などに会議や研修の場として提供した。

平成27年度は、利用希望団体の利用目的等を精査し、ネットワークビジネスや営業行為につながるおそれのある利用については許可しない方針としたため利用実績は減少傾向となり、前年度比195時間減の2,984時間であった。

(2) いわき市からの受託事業

① いきいきデイクラブ事業（表②参照）

高齢者の社会的孤立感の解消、自立生活の助長などを主な目的とするいきいきデイクラブ事業については、老人福祉センター及び老人憩いの家を主な会場として、生きがい等につながる教養講座や高齢者向けスポーツ及び趣味の活動など各種講座等を企画、開催した。

平成27年度は、健康づくりに関心を持つ高齢者が増加したため、スポーツ活動の開催件数・人数が増加した。

全体としては、前年度比で件数は37件の減であったものの、人数は172人の増であった。

② ファミリー・サポート・センター事業 (表③参照)

共働き世帯などの子育てを支援するファミリー・サポート・センター事業については、前年度と同様に育児を援助する会員と依頼する会員を募集し、子育て援助活動の斡旋を行う事業として実施した。援助活動の斡旋に加え、事業の周知と会員登録及び協力会員の基本研修会に加え、ステップアップ研修会や会員の親睦を深める交流会等の企画運営を行った。

平成27年度は、総会員数が前年度より36人増の816人となった。また、支援活動については、放課後の学童に対するサポートなどを主な活動として実施され、その件数は前年度比340件増の2,311件であった。

③ いわき・ふれあい・ふくし塾運営事業 (表④参照)

地域福祉推進を図る目的で実施するいわき・ふれあい・ふくし塾運営事業については、市民を対象に福祉に関する講義や福祉施設等でのボランティア活動を企画運営した。

平成27年度は、申し込み者数が43人と前年度比4人の減となり、卒業生及び延べ参加人数も前年度を下回った。

④ 障害者相談支援事業 (表⑤参照)

在宅の障がい者の自立と社会参加の促進を目的として実施する障害者相談支援事業は、福島県の指定事業者としていわき市障害者生活介護センターを拠点に、電話や面談、訪問などによる相談に応じ、必要な情報提供や助言、障がい福祉サービスの利用支援などを実施した。

また、障がい者が障がい福祉サービスを受ける際に必要となるサービス利用計画の作成について、その依頼(計画相談)は前年度に引き続き増加した。

その結果、計画相談は前年度より38件増加し、従来の相談支援件数は39件減少した。支援件数全体では885件であった。

⑤ 転倒骨折予防教室事業 (表⑥参照)

要支援・要介護状態になるおそれのある高齢者を対象として、介護予防を図るために実施する転倒骨折予防教室事業は、健康・福祉プラザを実施会場にして高齢者の運動機能の向上を目指した運動プログラムを高齢者に指導するなどして実施した。

平成27年度は、前年度と同じくいわき市から1コース(12回)を受託し実施した。

参加者数は前年度比1人増の14人で、延べ12人増の141人の利用であった。

(3) 自主事業

① 温泉療法事業 (表⑦参照)

温泉利用型健康増進施設である健康・福祉プラザにおいて実施する温泉療法事業については、利用について具体的な相談が無く、温泉療法の実施には至らなかった。

② いきいき健康教室事業 (表⑧参照)

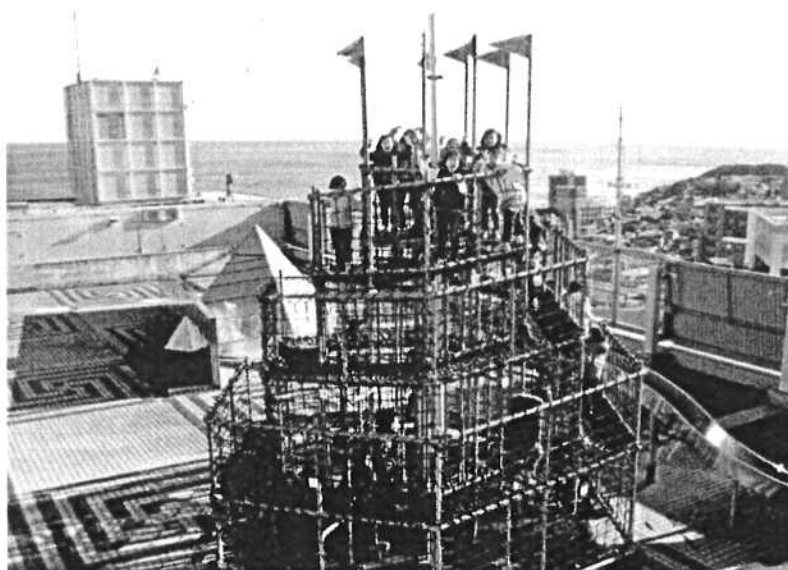
健康・福祉プラザを会場に、地域住民の健康増進に寄与するため、「シェイプアップコース」「水中運動コース」「シルバーコース」の3コースを実施した。

開催数は前年度と同様に8期開催し、利用者数も前年度とほぼ横ばいの12人減の延616人であった。

また、勤労者世代を対象に、開催時間を夜間に設定して実施する夜間プログラムについては、体育指導員の増員が図れずI期4回の開催にとどまり、延べ参加者数も22人であった。

【公益目的事業の様子】

児童厚生施設 (植田児童館・日立シビックセンター見学)



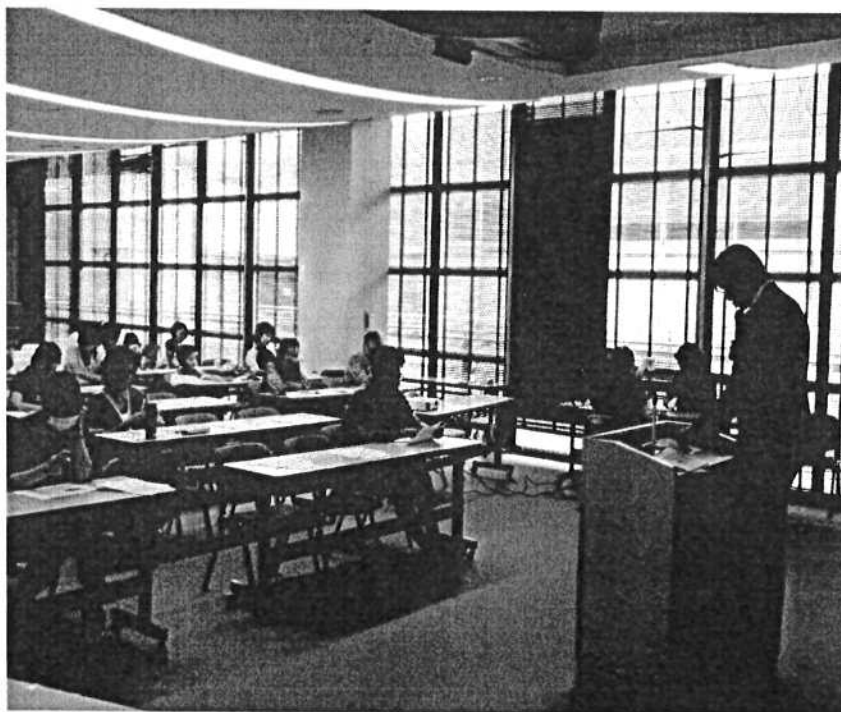
へき地保育所 (桶売保育所・親子味噌づくり体験)



サン・アビリティーズ (リアル野球盤交流会)



ファミリー・サポート・センター (講演会)



①-1 施設貸与事業(各施設の利用状況)

	施設名	平成27年度①	平成26年度②	比較 ①-②	平成22年度
老人施設	平老人福祉センター	755 ^件	695 ^件	60 ^件	522 ^件
	小名浜老人憩いの家	817	821	△ 4	718
	勿来老人福祉センター	583	553	30	583
	内郷老人福祉センター	689	655	34	483
	四倉老人福祉センター	916	918	△ 2	499
	件数計	3,760	3,642	118	2,805
児童厚生施設	小名浜児童センター	29,155 ^人	23,700 ^人	5,455 ^人	20,094 ^人
	(※内小学生)	(12,980)	(10,774)	2,206	(10,721)
	(※内プール利用者)	(2,597)	(2,128)	469	(1,824)
	(※地域活動推進事業)	(1,441)	(1,308)	133	(894)
	植田児童館	11,372	10,371	1,001	14,946
	(※内小学生)	(2,967)	(4,421)	△ 1,454	(3,292)
	(※内プール利用者)	(0)	(0)	0	(3,174)
	(※地域活動推進事業)	(1,174)	(744)	430	(1,107)
	内郷児童館	34,611	32,016	2,595	17,159
	(※内小学生)	(16,163)	(13,015)	3,148	(4,540)
	(※内プール利用者)	(3,408)	(3,592)	△ 184	(3,645)
	(※地域活動推進事業)	(1,900)	(1,349)	551	(710)
	人数計	75,138	66,087	9,051	52,199
	(※内小学生)	(32,110)	(28,210)	3,900	(18,553)
(※内プール利用者)	(6,005)	(5,720)	285	(8,643)	
(※地域活動推進事業)	(4,515)	(3,401)	1,114	(2,711)	
保育所	永井保育所	1,417 ^人	2,039 ^人	△ 622 ^人	2,988 ^人
	桶売保育所	673	1,410	△ 737	2,034
	人数計	2,090	3,449	△ 1,359	5,022
いわきサン・アビリティーズ		50,972 ^人	47,742 ^人	3,230 ^人	41,992 ^人
健康・福祉プラザ	健康増進施設	333,143 ^人	338,979 ^人	△ 5,836 ^人	269,670 ^人
	(※年間利用券利用)	(299,063)	(303,081)	△ 4,018	(235,357)
	宿泊施設	9,010	8,904	106	10,885
	浴室付大広間	17,208 ^人	16,053 ^人	1,155 ^人	14,086 ^人
	研修施設	2,984 ^{時間}	3,179 ^{時間}	△ 195 ^{時間}	2,411 ^{時間}

①-2 地域子育て支援拠点事業の実施状況

		平成27年度①	平成26年度②	比較 ①-②	平成22年度
小名浜	利用親子	1,839 組	1,476 組	363 組	1,328 組
	相談件数	652 件	453 件	199 件	272 件
植田	利用親子	1,551 組	1,012 組	539 組	855 組
	相談件数	1,489 件	1,081 件	408 件	337 件
内郷	利用親子	2,033 組	2,121 組	△ 88 組	818 組
	相談件数	558 件	410 件	148 件	213 件
合計	利用親子	5,423 組	4,609 組	814 組	3,001 組
	相談件数	2,699 件	1,944 件	755 件	822 件

①-3 いわきサン・アビリティーズ主催事業実施状況

大会・事業名	参加人数	大会・事業名	参加人数
卓球大会	27	リアル野球盤交流会	32
車いすテニス大会	8	ブラインドテニス大会	42
ボッチャ交流会	35	フライングディスク大会	26
スルーネットピンポン大会	42	オセロ大会	12
スポーツレクリエーション交流会	29	風船バレー交流会	17
車いすバスケット大会	76	バスケット大会	56
卓球バレー交流会	26	アーチェリー競技会	2
スポーツレクリエーション交流会	20	ショートテニス大会	8

①-4 健康増進施設の利用状況

(単位 人)

区分	利用人数			構成比	前年度 ②	比較 ① - ②	平成 22年度	
	男性	女性	合計①					
ビ ジ タ ー	高齢者	3,349	3,084	6,433	1.9%	7,250	△ 817	6,278
	障がい者	345	259	604	0.2%	713	△ 109	686
	一般利用(大人)	2,300	1,533	3,833	1.2%	4,534	△ 701	4,197
	〃 (小人)	683	574	1,257	0.4%	1,474	△ 217	1,423
	〃 (夜間)	2,666	1,492	4,158	1.2%	4,663	△ 505	3,934
	小計	9,343	6,942	16,285	4.9%	18,634	△ 2,349	16,518
	年間利用券利用	167,074	131,989	299,063	89.8%	303,081	△ 4,018	235,357
宿 泊 者	高齢者等	111	151	262	0.1%	288	△ 26	499
	一般利用(大人)	155	166	321	0.1%	334	△ 13	521
	〃 (小人)	54	56	110	0.0%	67	43	159
	小計	320	373	693	0.2%	689	4	1,179
回 数 券	高齢者等	1,086	1,024	2,110	0.6%	1,999	111	1,554
	一般利用(大人)	573	637	1,210	0.4%	1,062	148	1,050
	〃 (小人)	15	24	39	0.0%	34	5	133
	小計	1,674	1,685	3,359	1.0%	3,095	264	2,737
	入場券利用	4,351	7,207	11,558	3.5%	10,777	781	10,681
	その他利用	893	1,292	2,185	0.7%	2,703	△ 518	3,198
	合計	183,655	149,488	333,143	100.0%	338,979	△ 5,836	269,670

①-5 宿泊施設の利用状況

(単位 人)

区 分	利用人数			構成比	前年度 ②	比 較 ①-②	平成22年度	
	男性	女性	合計①					
宿 泊 施 設	高齢者・障がい者	2,336	3,330	5,666	62.9%	5,735	△ 69	7,512
	障がい者(小人)	2	1	3	0.0%	1	2	14
	一般利用(大人)	1,399	1,582	2,981	33.1%	2,806	175	2,773
	〃 (小人)	185	175	360	4.0%	362	△ 2	586
	合計	3,922	5,088	9,010	100.0%	8,904	106	10,885

①-6 宿泊施設の稼働状況

(単位 %)

	平成27年度①	平成26年度②	比較① - ②	平成22年度
部屋稼働率	69.8	67.6	2.2	79.3
定員稼働率	51.3	50.8	0.5	62.1

①-7 宿泊者の地域別利用

(単位 人)

区 分		平成27年度 ①	構成比	平成26年度 ②	比 較 ①-②	平成22年度
地 域 別	いわき市内	4,040	44.8%	3,934	106	3,954
	福島県(いわき市を除く)	2,001	22.2%	2,295	△ 294	869
	関東	2,497	25.6%	2,285	212	5,239
	北海道・東北(福島を除く)	289	3.2%	285	4	613
	上記以外	183	2.0%	105	78	210
	合 計	9,010	100.0%	8,904	106	10,885

② いきいきデイクラブ事業の実施状況

	平成27年度①		平成26年度②		比較 ①-②		平成22年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
教養講座(健康・ 生きがい関係)	105	2,186	137	2,477	△ 32	△ 291	148	3,111
高齢者スポーツ活 動	273	4,686	256	4,049	17	637	181	2,851
手芸・絵画等趣味 の活動	28	507	35	469	△ 7	38	75	1,032
その他(創作・会 食・奉仕活動)	38	460	53	672	△ 15	△ 212	34	409
合 計	444	7,839	481	7,667	△ 37	172	438	7,403

③ ファミリー・サポート・センター事業の実施状況

	平成27年度①		平成26年度②		比較 ①-②		平成22年度	
依 頼 会 員 数	470		443		27		541	
協 力 会 員 数	275		269		6		313	
両 方 会 員 数	71		68		3		108	
計	816		780		36		962	
支 援 活 動 件 数	2,311		1,971		340		2,613	
基 本 研 修 会	8回	101人	6回	92人	2回	9人	3回	65人
ステップアップ研修会	2回	89人	3回	53人	△1回	36人	6回	100人

④ いわき・ふれあい・ふくし塾運営事業の実施状況

	平成27年度①		平成26年度②		比較 ①-②		平成22年度	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
塾生・卒業生数	43人	35人	47人	39人	△4人	△4人	80人	57人
講義実施状況	6回	181人	6回	218人	0回	△37人	8回	420人
課外活動実施状況	6回	23人	7回	38人	△1回	△15人	13回	93人
計	12回	204人	13回	256人	△1回	△52人	21回	513人

⑤ 障害者相談支援事業の実施状況

	平成27年度①		平成26年度②		比較 ①-②		平成22年度		
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	
登録者人数		48人		62人		△14人		113人	
支援 件 数	障がい者福祉サービス等の利用援助		174件		170件		4件		363件
	社会資源活用のための支援		250		281		△31		136
	社会訓練プログラム等		147		159		△12		361
	専門機関の紹介		0		0		0		0
	その他		0		0		0		29
	計画相談		314		276		38		0
	合計		885件		886件		△1件		889件

⑥ 転倒骨折予防教室事業の実施状況

	平成27年度①			平成26年度②			比較 ①-②			平成22年度		
	受託回数	参加者数	延人数	受託回数	参加者数	延人数	受託回数	参加者数	延人数	受託回数	参加者数	延人数
参加状況	12回	14人	141人	12回	13人	129人	0回	1人	12人	36回	26人	265人

⑦ 温泉療法事業の実施状況

(単位 人)

	平成27年度①	平成26年度②	比較①-②	平成22年度
相談・問合せ件数	0	0	0	1
温泉療法実施者	0	0	0	1

⑧ いきいき健康教室事業

(単位 人)

	平成27年度①	平成26年度②	比較①-②	平成22年度
シルバーコース	182	174	8	233
シェイプアップコース	167	187	△20	111
水中運動コース	267	267	0	275
合計	616	628	△12	619

2 収益事業（介護事業）

1. 総括事項

平成 27 年度は、収益事業として、健康・福祉プラザにおいて指定通所介護事業と指定居宅介護支援事業を実施し、障害者生活介護センターにおいて障害者生活介護事業を実施した。いずれの事業においても、在宅で暮らす要介護者の自立的な生活を支援し、市民福祉の向上に寄与するという事業団の目的を果たしてきた。

またこれらの介護事業は、事業団の安定的な運営のために財務面で重要な役割を担うことから、収益確保のため事業運営の効率化に努めた。

通所介護事業所においては、前年度同様在宅で暮らす要介護・要支援の高齢者を対象にデイサービス事業を実施した。

居宅介護支援事業所においては、介護サービスの利用を希望する世帯を訪問し、地域の介護サービス情報提供を行い、利用者のサービス選択の利便を図ったケアプラン作成に努めた。

障害者生活介護センターにおいては、前年度同様に在宅で暮らす障がい者を対象に通所による生活介護サービスの提供を行い、家族の介護負担軽減と障がい者の地域生活支援を実施した。

これら収益事業（介護事業）の収入は、雑収益を含めて 118,190 千円であった。一方支出は、111,514 千円となり、差し引き 6,675 千円の黒字であった。

(1) 通所介護事業（表①-1～2 参照）

指定通所介護事業所の利用状況は、年度半ばまで利用者の入院や入所等が多く、利用実績も伸び悩み、8 月には 1 日の平均利用者 17 人まで減少したが、新規利用の受け入れと現利用者に複数回利用の促進のため、送迎の配車見直しを図ったことなどにより、3 月には 1 日平均 20.9 人利用まで回復し、延利用者は前年度比 16 人減の 5,714 人とほぼ横ばいであった。

しかしながら、平成 27 年から介護報酬の単価引き下げの影響で、収入は 41,817 千円まで落ち込み、支出は 41,719 千円となり、差し引き 98 千円とわずかな黒字であった。

(2) 居宅介護支援事業（表② 参照）

居宅介護支援事業では、年度当初は専任で介護支援専門員を配置し、積極的に利用者増を図る方針であったが、通所介護事業所の介護員不足が解消されず、前年度同様、介護支援専門員が通所介護事業の業務と兼務しながらのケアプラン作成業務従事となり、思うような利用者増が図れなかったため、平成 27 年度の件数は前年度比 11 件増の総数 331 件とほぼ横ばいであった。

その結果、収入は 3,204 千円、支出は 3,881 千円となり、差し引き 677 千円の赤字であった。

(3) 障害者生活介護センター (表③-1～2 参照)

障害者生活介護センターでは、新規利用者の登録に関して、前年度にも増して、家庭環境・家庭介護力・介護負担状況を勘案し、より緊急性のある対象者を優先しながら積極的に新規利用者の受け入れを行うとともに、現利用者に複数回利用の促進を図ったが、利用者の長期入院、体調不良、家庭事情等による利用回数減や契約解除により、利用者数は前年度から394人減の7,942人であった。

その結果、報酬単価の見直しの影響もあり、収入は72,833千円、一方、支出は65,914千円となり、差し引き6,919千円の黒字にとどまった。

【収益事業の様子】

健康・福祉プラザ通所介護事業所



レクリエーション (卓球バレー)



避難訓練

①-1 通所介護事業利用状況

	平成27年度①	平成26年度②	比較①-②	平成22年度
(1)年度末利用登録者数 (人)	54	56	△ 2	60
(2)年度開所日数 (日)	308	300	8	291
(3)年間利用予定者数 (人)	4,645	4,481	164	4,180
(4)年間延利用者数 (人)	4,370	4,173	197	3,856
(5)年間利用率 (%)	94.1%	93.1%	1.0	92.2%
(6)1日当たり平均利用者数 (人)	14.2	13.9	0.3	13.3

①-2 通所介護事業(介護予防)利用状況

	平成27年度①	平成26年度②	比較①-②	平成22年度
(1)年度末利用登録者数 (人)	15	19	△ 4	26
(2)年度開所日数 (日)	308	300	8	291
(3)年間利用予定者数 (人)	1,556	1,748	△ 192	2,042
(4)年間延利用者数 (人)	1,344	1,557	△ 213	1,845
(5)年間利用率 (%)	86.0%	89.0%	△ 3.0	90.4%
(6)1日当たり平均利用者数 (人)	4.4	5.2	△ 0.8	6.3

② 居宅介護支援事業:ケアプラン作成件数

(単位 件)

区分	平成27年度①	構成比	平成26年度②	比較①-②	平成22年度
要支援1	7	2.11%	6	1	14
要支援2	66	19.94%	73	△ 7	33
要介護1	59	17.82%	38	21	32
要介護2	114	34.44%	94	20	108
要介護3	63	19.03%	68	△ 5	31
要介護4	22	6.65%	32	△ 10	82
要介護5	0	0.00%	9	△ 9	22
合計	331	100.0%	320	11	322

③-1 障害者生活介護センター利用状況

(単位 人)

障害程度区分	平成27年度①	構成比	平成26年度②	比較①-②	平成22年度
区分 2	1,284	16.17%	1,099	185	1,029
区分 3	1,710	21.53%	2,081	△ 371	1,638
区分 4	2,046	25.76%	2,003	43	1,603
区分 5	1,013	12.75%	1,526	△ 513	665
区分 6	1,889	23.78%	1,627	262	1,402
合計	7,942	100.0%	8,336	△ 394	6,337

③-2 障害者生活介護センター 登録者動静

(単位 人)

新規契約	契約解除	利用回数		区分変更	
		増	減	重	軽
15	10	9	5	16	3

3 評議員会・理事会報告事項

日時	出席	議案番号	件名
第6回 評議員会 27.4.13 開催	評議員 5名 理事 1名 監事 1名	第1号	公益財団法人いわき市社会福祉施設事業団 理事の選任について
		第2号	公益財団法人いわき市社会福祉施設事業団 監事の選任について
		議案第1号、第2号、いずれも議決	
第97回 理事会 27.4.13 開催	理事 6名 監事 2名	第1号	理事長（代表理事）の選定について
		第2号	専務理事（業務執行理事）の選定について
		第3号	事務局長の選任について
		議案第1号から第3号まで、いずれも議決	
第7回 評議員会 27.4.27 開催	評議員 4名 理事 2名 監事 2名	第1号	公益財団法人いわき市社会福祉施設事業団 理事の選任について
		議案第1号、議決	
第98回 理事会 27.4.27 開催	理事 5名 監事 2名	第1号	副理事長（業務執行理事）の選定について
		議案第1号、議決	

日時	出席	議案番号	件名
第99回 理事会 27.5.25 開催	理事 7名 監事 2名	報告 第1号	理事長・副理事長・専務理事の職務の執行状況について
		第1号	平成26年度事業報告及び決算について
			※平成26年度決算審査については、平成27年5月21日に実施
		第2号	第8回評議員会の招集の決定について
議案第1号、第2号、いずれも議決			
第8回 評議員会 27.6.26 開催	評議員 3名 理事 3名 監事 2名	報告 第1号	平成26年度事業報告について
		第1号	平成26年度決算について
		第2号	任期満了に伴う理事の選任について
		議案第1号、第2号、いずれも議決	
第100回 理事会 27.6.26 開催	理事 7名 監事 2名	第1号	理事長（代表理事）の選定について
		第2号	副理事長（業務執行理事）の選定について
		第3号	専務理事（業務執行理事）の選定について
		議案第1号から第3号まで、いずれも議決	

日時	出席	議案番号	件名
第9回 評議員会 28.2.16 開催	評議員 5名 理事 3名 監事 1名	第1号	公益財団法人いわき市社会福祉施設事業団 定款の変更について
		議案第1号、議決	
第101回 理事会 28.3.24 開催	理事 5名 監事 2名	報告 第1号	平成27年度施設等利用者数見込及び収支決 算見込について
		報告 第2号	理事長・副理事長・専務理事の職務の執行状 況について
		第1号	公益財団法人いわき市社会福祉施設事業団 給与規程の改正について
		第2号	平成28年度事業計画について
		第3号	平成28年度収支予算について
		第4号	平成28年度資金調達及び設備投資の見込み について
		第5号	公益財団法人いわき市社会福祉施設事業団 処務規程の改正について
		第6号	公益財団法人いわき市社会福祉施設事業団 会計規程の改正について
		議案第1号から第6号まで、いずれも議決	

※ 平成27年4月17日 決議の省略による理事会決議

「第7回評議員会招集の決定について」

※ 平成28年2月4日 決議の省略による理事会決議

「第9回評議員会招集の決定について」

4 役員の変動事項

氏名	役職名	発生年月日	理由	備考
後藤 昌弘	理事長	27.4.13	就任	27.4.23 登記
高橋 明男	専務理事	27.4.13	就任	27.4.23 登記
瀬谷 靖	監事	27.4.13	就任	27.4.23 登記
遠藤 喜一	副理事長	27.4.13	辞任	27.5.18 登記
加藤 弘司	副理事長	27.4.27	就任	27.5.18 登記
鈴木 一	理事	27.6.26	退任	27.7.30 登記
後藤 昌弘	理事長	27.6.26	重任	27.7.30 登記
加藤 弘司	副理事長	27.6.26	重任	27.7.30 登記
高橋 明男	専務理事	27.6.26	重任	27.7.30 登記
強口 暢子	理事	27.6.26	重任	27.7.30 登記
古館 信義	理事	27.6.26	重任	27.7.30 登記
村田 和男	理事	27.6.26	重任	27.7.30 登記
篠原 清美	理事	27.6.26	就任	27.7.30 登記
加藤 弘司	副理事長	28.3.31	辞任	28.5.16 登記

5 職員数に関する事項

(単位 人)

施設等名	事務局 局長	館 長	次 長	副 館 長	施 設 長	主 任	事 務 職 員	児 童 厚 生 員	保 育 士	体 育 指 導 員	看 護 師	介 護 支 援 専 門 員	生 活 相 談 員	指 導 員	嘱 託 職 員	臨 時 雇 用	合 計
事務局	1		1			1	1										4
平老人福祉センター					(1)										1		1 (1)
小名浜老人憩いの家					(1)											1	1 (1)
勿来老人福祉センター					(1)											1	1 (1)
内郷老人福祉センター					(1)											1	1 (1)
四倉老人福祉センター					(1)											1	1 (1)
小名浜児童センター					1			2								2	5
植田児童館					1			1							1	2	5
内郷児童館					1			1							1	2	5
永井保育所					(1)				1						2		3 (1)
桶売保育所					(1)				1						1		2 (1)
いわきサン・アビリティーズ					(1)	1									1	2	4 (1)
ファミリー・サポート・センター					(1)		1									1	2 (1)
健康・福祉プラザ	総務	(1)		1		(1)	1								1		3 (2)
	健康増進 宿泊研修					1	2		3						1	5	12
	通所介護 居宅介護支援				(1)	1					1	2	1		2	3	10 (1)
障害者生活介護センター					1	2	2			1	1		1		9		17
計	1	(1)	1	1	4(10)	6(1)	7	4	2	3	2	3	1	1	11	30	77 (12)

()は兼務職員。臨時雇用にはパート雇用も含む。

平成28年3月31日現在